1　大人から子どもまで楽しめる鞆の祭り

七年に一度の楽しみ

〔町内をねり歩くチョウサイ〕

鞆で最も楽しめる祭りは,「チョウサイ」という祭りだと私は思います。漢字で書くと「丁勢」ですが,「長歳」など他の漢字で表すこともあります。この丁勢は「おわたす様」という神様のお祭りですが，おみこしの名前でもあります。

この丁勢(みこし)は，重さ５００ｋｇ，横２ｍ，縦３ｍ，長さ５ｍです。この丁勢は，年に１回，９月の中旬の金，土，日曜日に行われ，七町で当番を回します。当番の順番は，関町→石井町→祇園町・鍛冶町→原町→江ノ浦→元町→西町の順で行われます。

この丁勢(みこし)は当番をする町の男の人が準備をします。丁勢の１日目は夜に「あかしもん」という物を引っぱります。２日目は，朝から鞆の町中を回ります。最終日は，昼の２時から深夜の２時まで，約１２時間も，丁勢(みこし)を引っぱりながら町中をねり歩きます。鞆は道が狭いので大きな丁勢(みこし)を引っぱるのはとても大変です。しかし，そのことをものともせず，老若男女，全員が歌い踊って祭りを楽しんでいます。また，鞆を離れた人たちもこの祭りには帰省して参加します。それぐらいこのお祭りは，鞆の人たちにとって楽しく大切な祭りなのです。

おすすめポイント

この丁勢はいろんな歌があって，みんなで大声で歌うのがとても楽しいです。だから，大人から子どもまで楽しめる祭りなのです。この丁勢は歌って踊るとても楽しい鞆の行事の一つです。私は丁勢(みこし)を影で支えている人はすごいと思いました。準備を頑張ってくれているからこそこの丁勢が安心してできるんだと思います。この丁勢は，鞆中の人達が笑顔になれる祭りです。

福山市立鞆中学校　２年　妹尾　菜月